

令和3年度和歌山県立那賀高等学校

第2回学校運営協議会 概要

第2回学校運営協議会について、「那高キャリア教育支援授業」の参観を兼ねて行うため、10月下旬に2日間の日程で実施する予定で進めてきましたが、コロナ禍に伴い事業をやむを得ず中止としました。

そこで、那賀高等学校運営協議会会長である岸田正幸氏を講師とし、本校の生徒をパネラーとした「パネルディスカッション」を代替の事業として、令和3年10月28日に開催しました。事業概要は以下の「講義メモ」のとおりです。

「那高キャリア教育支援授業」“パネルディスカッション”講義メモ

- 日程：令和3年10月28日（木）6限
- 講師：岸田正幸氏（大阪体育大学教授）
- パネリスト：2A渡邊シバ、2B中西理雲、2C林 準斗、
2D村中 葵、2E亀田和花、2F林 蒼、
2G芝地望鼓

I パネルディスカッション概要

「メタ認知」とは、自分の姿を見つめ、自分で自分を問い直す作業。プロスポーツ選手で活躍している人は、メタ認知能力の高い人だと言われており、自己を成長させるためにも大切である。

- 1 自分にとって友とは
- 2 家族とは
- 3 那賀高校は自分にとってどんな場所か
- 4 卒業後、自分の将来はどうなっていると思うか、また働くとはどういうことか
- 5 今の自分に足りないところ、今自分は何をすべきか

- 岸田先生から出される1～5の問いに、7のパネリストたちが答える形で進んだ。
- フロアの生徒たちも、パネリストたちと同様、自分自身に問いかけながら答えを探していた。
- 2学年の生徒たちは「メタ認知」を知り、これまでよりも深く自分自身を振り返ることができた。

II 生徒アンケートについて

生徒のほぼ全員が「今日の授業は自分のためになった」と答え、メタ認知によって自分自身を振り返ることができてとてもよかった、という感想を述べている。以下、生徒の感想（原文のまま）を紹介します。



- 今までの自分は学校での暮らしとかを何も考えずに過ごしてきたけど、これからはもっと出来事一つ一つに意味を感じたり、ありがたく思おうと思いました。(2A)
- 50分間、自分自身に問い続ける新しい時間だった。自分自身の中に答えがあるはずなのに、なかなか答えが出なくて難しく感じた。(2A)
- パネリストの意見を聞きながら、自分と向き合うことができた。いろんなものがあって、納得するものもあればわからないものもあってよかった。(2A)
- 学校のアンケートなどでは自分だけで考えてまとめていたけど、みんなの考えを知ることで、共感できたり新しく学べたり、自分のやる気を起こさせる意見もあって、すごく有意義な時間になりました。ありがとうございました。(2A)
- 前に出た7人全員、自分の意見を自分の言葉でしゃべっていて、同学年なのにすごいなと尊敬しました。岸田先生はフレンドリーな感じで、見ている私もゆったりとしてたくさんメモすることができた。(2A)
- メタ認知、自分の良いところと悪いところを自分自身がわかっていること。(2B)
- 他人から見えている自分も考えて行動することが大切だと思った。自分の思っていることをたくさん友達に話して、お互いを高めていきたいと思った。(2B)
- 自分と他の人を比べるのではなく、もっと自己分析しようと思った。(2B)
- 自分でメタ認知できるように頑張る。将来のためにできることを、この高校の時間でやっておきたいと思った。(2B)
- これから、メタ認知能力を高める。できないことをできるようにする。(2B)
- いつもみたいなスピーチとかそういう感じじゃなくて、ふつうに話し合いみたいな感じで聞きやすかった。(2B)
- 今回の授業を受けて、メタ認知という言葉をもっと具体的にわかりやすく理解することができた。そして、パネラーたちの意見や会場の人々の意見を聞いて、自分を見つめ直す良い機会になった。自問自答を大事にしようと思う。(2C)
- 今日の授業は自分のことについて改めて振り返ることができたので、良い時間だった。家族や友達、将来について今までより深く考えられた。(2C)
- メタ認知をすることは自分が成長するきっかけになると思いました。(2C)
- 今の自分自身を「メタ認知」することができた。自分にとって、友達、家族、那賀高校、将来とは何なのかを改めて見つめ直すことができ、とてもより時間を過ごすことができた。また自分にとって足りていないものを見つけた。(2C)
- この授業を機に、自分について考えたらもっとわからなくなりました。前で発表している人たちは明確でかっこいい考えがあって、大変うらやましいです。(2C)
- もっと自分を見つめ直さないといけないなと思いました。前でしゃべってくれた人たちは自分と同級生なのにすごいなと思って、自分もがんばらな、と思うことができました。(2D)
- この授業を受ける前は、自分にとっての家族や友人がどんな存在なのかふわふわしていたけど、改めてその存在の大切さを再認識することができた。将来についてや働く意義はまだよくわからないが、舞台上にいる人たちの意見を聞いたり、先生のお話を聞いたりして、少し自分の視野が広がっていった



- 気がする。失敗しても後ろを向かず、上や前を向いて歩いて行こうと思えた。(2D)
- 1人の時間にたまにする自己分析？みたいなのが「メタ認知」だったのかと思った。定期的に自分を見つめ直して、足りないことを積極的に補っていかなくてはいけないなと思われた。また、将来やりたいこととか楽しい目標をいっぱい作っていききたいなと思った。(2D)
 - 常に自分に自問自答することが大切だと感じた。自分を変えるきっかけを作れるのは自分だと気づいた。(2D)
 - 振り返ることってとても大事なんだと思いました。岸田先生のおもしろトークと共に考えることの大切さを学びました。一歩先の自分になれたと思います。(2D)
 - 目の前のテストや授業で毎日頭がいっぱいだったが、将来を考え、自分の夢を考えて、悔いのないよう暮らしたいと思いました。(2D)
 - before 自分についてよく理解しておらず、漠然と人生を過ごしていた、また自分の将来のこともあまり考えていなかった。After まず自分のことを自分で客観的に理解し、自分のためなところを見つけ改善していかなければならない、と思いました。また、自分の将来をおおざっぱでもいいから考えていかなければならないと思いました。(2D)
 - 自分も発言してみたくくなりました。(2E)
 - 身近な友達が頑張っていて、私も何か頑張りたいなと思いました。(2E)
 - before 高校生 after 哲学者(2E)
 - 自分に何が足りないのかを考えることが大切だと思った。将来後悔しないように、今やれることをやろうと思った。(2E)
 - いつもの学年集会では眠くなるが多かったのですが、今日の授業では各クラスの代表の子が出ていたので、眠くならず集中して最後まで聞くことができました。(2F)
 - この授業を境に自分の自分に対する考え方が変わった。(2F)
 - 1日に少しでもいいから、成長するようにしようと思った。(2F)
 - メタ認知というものを初めて知った。自分自身のことを理解することで、また次の段階へとすすめていけるんだと思った。(2F)
 - メタ認知の重要性を知れた。(2F)
 - 今回このような時間を作ってもらって、いろんな話を聞いて、自分自身についてもう少し知り、将来について考えた方がいいなと思いました。あまりこのような時間がないので、よい機会になったと思いました。(2F)
 - パネリストの言葉をきれいにまとめて交換していてすごいと思った。自身を振り返りながら他の人の気持ちを聞くと、新しい観点が開けてワクワクした。他の人の意見も取り入れつつ成長したい。(2G)
 - またこのような形式の話し合いをしたいです！(2G)
 - メタ認知という言葉が知らなかったけど、知ることができました。(2G)
 - 1日の過ごし方を考えていきたい。前は成長とか特に考えてなかったけど、今はどんな風に成長していきたいか考えられるようになった。(2G)
 - 自分の将来や現在、過去について考えるきっかけになったのはもちろん、自分のことを見つめる人がたくさんいて、その人たちの意見も聞くことで多様性を感じ取れた。自分と考えが違う人がたくさんいて面白かった。またして欲しいし、2時間くらいほしいなと思った。(2G)

